

# 下関市の概要





## I 下関市の概要

### 《自 然》

🗺️ Q 1 下関市は本州の西端のまちです。さて、本州最西端の場所は下関市のなんとこの所でしょうか。

- ①戸屋ノ鼻      ②毘沙ノ鼻      ③観音崎      ④神田岬      ⑤本場鼻

**答え**      ②毘沙ノ鼻

**解説**      下関市は本州の最西端に位置するまちです。下関市役所本庁の位置は、東経130° 56′ 29″ 北緯33° 57′ 28″。本州の最西端に当たるのは吉母町にある毘沙ノ鼻という岬で、東経130° 51′ 37″、北緯34° 06′ 38″です。

Q 2 下関市は本州の西端に位置しますが、本州の四方位の最端の地の市町同士で本州四端協議会が結成されており、本州四端踏破ラリーなどの事業が展開されています。本州最南端の市町村は和歌山県串本町、本州最北端の市町村は青森県大間町ですが、本州最東端の市町村はどこでしょうか。

- ①北海道根室市      ②青森県階上町      ③岩手県宮古市  
④宮城県石巻市      ⑤千葉県銚子市

**答え**      ③岩手県宮古市

**解説**      「本州四端」とは本州の四方位の最端の地のことです。東端は岩手県宮古市、西端は山口県下関市、南端は和歌山県串本町、北端は青森県大間町です。この市町間で本州四端協議会が結成されており、その事業の目玉として、「本州四端踏破ラリー」が実施されています。これは、本州四端の全てのまちを訪れると四端を踏破した証明

書や記念品がもらえるもので、スタンプラリーファンの間では、「日本最大のスタンプラリー」として知られています。

Q 3 すおう なた 周防灘と響灘を結ぶ運河のような関門海峡。景観も美しい関門海峡に関する説明のうち、誤りはどれでしょうか。

- ①海峡が最も狭い、下関の御裳川みもすそがわと門司の和布刈めかりの間は早鞆はやともの瀬戸と呼ばれており、神功皇后じんぐうこうごうに関連する古い伝承があります。
- ②早鞆はやともの名は、潮の流れが速く急潮のとき巴の渦を巻くところから名付けられたと言われています。
- ③関門海峡と総称されはじめたのは、大正になってからです。海峡名としては、穴門海峡あなと・馬関海峡などのほか、地図上では下関海峡と表されるのが一般的でした。
- ④北九州市の大里だいり・小森江と彦島の間の大瀬戸、彦島と下関の間くきとの小瀬戸、そして早鞆の瀬戸の三つの瀬戸に囲まれた海域を、洞門とか硯の海とか称していました。
- ⑤この海峡で、源平壇之浦合戦が行なわれて平家が敗れ、武家政治が始まります。幕末には文久3年（1863）5月から翌元治元年（1864）8月まで、計6回の攘夷戦争が行なわれました。長州藩は敗れましたが、それが切っ掛けとなって維新回天へと時代が大きく動きます。関門海峡は、武家政治の始まりと終りという、我が国の大きな歴史転換の舞台になりました。

**答え** ③

**解説**

関門海峡と総称されはじめたのは、明治になってからです。「門司新報」明治34年（1901）5月28日の紙面に、関門海峡という呼称がはじめて登場します。明治40年（1907）下関と門司両港は合併して関門港となります。その前後から関門海峡の呼称も一般化したものと思われる。国土地理院発行の地図では、明治33年（1900）測量5万分の1のものには赤間関海峡、大正11年（1922）測量25,000分の1の地図になって、はじめて関門海峡とでます。

○神功皇后<sup>じんくうこうごう</sup>伝承。本居宣長<sup>もとおりのりなが</sup>「古事記伝」では、「上代には長門と豊前は山で続いていた。その下に洞<sup>あな</sup>があって潮が通い、船も往来していたので穴戸という。神功皇后が軍船を率いて、ここに来られたとき一夜のほどに山が引別れたという古い伝説がある。」という意味のことを書いています。

○山縣有朋の歌 水無月十七日豊前國門司にうち入りけるとき  
(小倉口の戦です)

浪さわく硯のうみの ゆふたちに かきくもりたる筆たてのやま

Q 4 関門海峡は、早鞆の瀬戸で1日約600隻もの船舶が往来する海の難所です。関門海峡に関する説明で、正しいものはどれでしょうか。

- ①関門海峡の潮流は、1日に4回東流れ、西流れと変化します。東流れは瀬戸内海から流れて来る潮で、西流れはその逆です。
- ②火の山下などにある潮流信号所には電光表示板があり、潮流の速さと向きなどが表示されています。E東流れ、W西流れ、数字はノット。上向き矢印は、これから潮流が早くなる、下向き矢印はその逆です。
- ③関門橋の下には早鞆信号所があり、電光文字表示による管制を行っています。Hの点滅は総トン数10,000トン（油送船は3,000トン）以上の西行船があるので、東行船は運航に注意しなければならないという意味です。Tの点滅は同様の東行船があるので、西行船は運航に注意しなければならないという意味です。
- ④導灯<sup>どうとう</sup>は下関側が壇之浦と彦島の2箇所にあります。北九州市側にも2箇所に設置されています。船は右側通航なので、西へ行く船は下関側の導灯の前灯と後灯の光が重なって見えるように航行すれば、安全に通航できます。同様に東へ行く船は、北九州市側の導灯を見ます。
- ⑤灯浮標は下関側が赤色、北九州側が緑色です。

答え ②

解説

①東流れは瀬戸内海（東）へ流れる潮で、干潮へと進みます。西流れは日本海（西）へ流れる潮で、満潮へと進みます。③Hの点滅は、総トン数1万トン（油送船は3,000トン）以上の東行船があるから、西行船は運航に注意しなければならないという意味です。Tの点滅は、同様の西行船があるから、東行船は運航に注意しなければならないという意味です。Hは関門海峡東口（部埼）向けの航行船舶、Tは関門海峡西口（竹ノ子島）向けの航行船舶があることを意味しています。④北九州市側の導灯は、手向山など<sup>たむけやま</sup>3箇所に設置されています。⑤灯浮標は下関側が緑色、北九州側が赤色です。

Q 5 環境省選定の「残したい日本の音風景百選」に選ばれている関門海峡の音は「関門海峡の潮騒と〇〇」です。さて、この〇〇はなんでしょうか。

- ①風の音                      ②市場の喧騒                      ③汽笛                      ④鷗の声  
⑤波の音

答え

③汽笛

解説

関門海峡は本州の西端の下関市と九州東北端の北九州市門司区に挟まれた海域で、瀬戸内海と日本海を結ぶ、海上交通の要衝。昔から<sup>はやとも</sup>瀬戸といわれた関門橋のあたりは、幅約600m、瀬戸内海と日本海の干満の差によって潮流は激変し、特に潮流の速いところでは時速約20kmにもなります。その海峡を1日大小600隻余りの船が行き交い、激しい潮流の音の中で聞こえる汽笛との交錯は、まさに海峡の音色そのものといえます。環境省選定の「残したい日本の音風景百選」に「関門海峡の潮騒と汽笛」として選ばれています。

Q 6 豊北町神田肥中の恩徳寺にある国指定天然記念物はなんでしょうか？

- ①結びいぶき                      ②シダレザクラ                      ③イチイガシ  
④イヌマキ巨樹群                      ⑤ハマオモト

答え

①結びいぶき

解説

恩徳寺おんとくじの境内にあるイブキの大木。地上から2 mほどのところで多数の枝に分かれて、からみあっている。その奇観から、「結びイブキ」と名付けられた珍木です。昭和30（1955）年10月26日に国指定天然記念物に指定されています。②③は豊北町滝部、④は豊北町阿川にあり何れも県指定天然記念物、⑤は下関市指定天然記念物。

🌳 Q 7 下関でいちばん高い山の高さは713mの山です。なんという山でしょうか。

- ①狗留孫山くるそんざん      ②華山げざん      ③鬼ヶ城      ④白滝山      ⑤竜王山

答え

②華山

解説

下関市の山は、中国山脈の一番西よりに当たり、あまり高い山はありません。一番高い山は華山で713m、次いで天井ヶ岳691m、京ヶ嶽672m、一位ヶ岳672m、白滝山668mと続きます。鬼ヶ城は620m、狗留孫山は616m、竜王山は614m。ちなみに関門海峡を望む観光地、火の山は268mです。

🌳 Q 8 下関でいちばん面積が広いのはなんという島でしょうか。

- ①彦島      ②六連島むつれじま      ③蓋井島ふたおいじま      ④角島      ⑤厚島あつしま

答え

①彦島

解説

下関の島の面積を見ると彦島がいちばん広く10.60km<sup>2</sup>で、人口は31,085人、続いて角島が3.96km<sup>2</sup>で901人、蓋井島2.35km<sup>2</sup>で87人、六連島が0.7km<sup>2</sup>で112人、厚島0.4km<sup>2</sup>で人は住んでいません。彦島と下関本土との間は短く、関彦橋と彦島大橋で結ばれ、人口も多く島という感じがしません。

🌳 Q 9 下関には美しい島・伝説に彩られた島があります。このうち神功皇后じんぐう こうごう伝説に彩られ、関門海峡に浮かび、樹林が天然記念物になっている

島はなんという島でしょう。

- ①六連島 むつれ じま ②蓋井島 ふたおい じま ③満珠島・干珠島 まんじゆ かんじゆ ④角島 つのしま ⑤巖流島 かんりゅうじま

**答え** ③満珠島・干珠島

**解説** 下関の島は、関門橋東側に満珠島・干珠島と西側に巖流島（船島）ふなしま、関門海峡と響灘に面している大きな彦島、そして響灘に浮かぶ六連島、蓋井島、角島など多くの島があります。関門海峡に浮かぶ満珠島・干珠島は神功皇后伝説の中の干る珠・満ちる珠が二つの島になったという伝説があり、また、源平壇之浦合戦時の源氏方の集結場所ともなりました。巖流島は武蔵小次郎の決闘の場所として有名です。

🌐 Q10 名前の知られた巖流島ですが、正式名称は実は違う名前です。その名前はなんでしょうか。

- ①小島 ②船島 ③瀬戸島 ④関島 ⑤馬島

**答え** ②船島 ふなしま

**解説** 巖流島は、元々は舟島と呼ばれていましたが、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘で敗れた佐々木小次郎の号が巖流であったことから、巖流島と呼ばれるようになったそうです。江戸時代から読み物でも取り上げられ、昭和に入って吉川英治の「宮本武蔵」や村上元三の「佐々木小次郎」などの小説で全国に知られるようになりました。昔は16,500㎡程度であったそうですが、明治43年（1910）と大正15年（1926）に埋め立てが行われ、現在は103,000㎡の広さになっています。

Q11 たわらやま 俵山を源流とし豊田町、菊川町こやがわをきこり通って吉田に流れ出る木屋川の名は、どのようにして付けられたのでしょうか。

①川の上流きこりに樵の宿があったから。



- ②川の途中に製材する小屋があったから。
- ③河口に近い所に木屋という船着場があったから。
- ④川の途中に炭焼き小屋がたくさんあったから。
- ⑤木屋という庄屋がいたから。

**答え** ③

**解説** 木屋川は、古くは豊田川、豊浦川といわれていました。河口に近い所に「木屋」という船着場があり、古い記録に「木屋の川口まで」とあり、これをいつの間にか「木屋川口まで」というようになり、江戸時代後期に木屋川通船が開通してからは「木屋川」が全線の川の名前になりました。ところによっては、吉田川とも呼んでいますが現在は木屋川に統一されています。

Q12 豊田町の一の瀬地区には、下関市指定文化財（天然記念物）の木がありますが、それは何でしょうか。

- ①館ヶ浴やかたがえきのツバキ
- ②館ヶ浴のスギ
- ③館ヶ浴のヒノキ
- ④館ヶ浴のクス
- ⑤館ヶ浴のイチョウ

**答え** ①館ヶ浴のツバキ（椿）

**解説** 豊田町一の瀬には、豊田大和入道元秀やまと にゅうどう もとひで以来五代の居住地「おびい屋敷」があり、その庭園に植樹されたとされる「館ヶ浴の椿」があります。4月には、紅・白・ピンクなど五色八重散椿の花が咲き、多くの見物客が訪れます。

Q13 菊川町道市の河内神社こうちには樹齢350年と言われる夫婦杉があり、下関市指定天然記念物として文化財に指定されています。この夫婦杉の「幹周り」の大きさは山口県内での順位は何番目となるでしょうか。

- ①1番目
- ②2番目
- ③3番目
- ④4番目
- ⑤5番目

**答え** ⑤ 5 番目

**解説** 河内神社は明応 4 年（1495）9 月に創建されましたが水害に悩まされ、元禄 9 年（1696）8 月に現在の高台に移転され、信仰されていた夫婦杉もこの時移植されたと推察されます。河内神社の夫婦杉は目通り（幹周り）501cmと317cmで菊川町内では抜きん出た巨木です。因みに県下 1 番目一周南市大玉杉（980cm）、2 番目ー山口市平川の大杉（850cm）、3 番目ー吉部八幡宮の大杉（660cm）、4 番目ー福栄村一本杉（650cm）です。

Q 14 豊浦町小串夢ヶ丘が自生南限地帯として、国指定天然記念物になっている植物は何でしょう。

- ① サクラソウ                      ② オオヤマレンゲ                      ③ エヒメアヤメ  
④ ヒカリゴケ                      ⑤ コウシンソウ

**答え** ③ エヒメアヤメ

**解説** エヒメアヤメはアヤメ科の多年性草木で、タレユエ草ともいわれています。日本列島が、アジア大陸と陸続きであったことを証明する植物学上の重要な資料です。西日本、四国、九州の 6 か所がエヒメアヤメ自生南限地帯として、天然記念物に指定されています。

Q 15 下関市で確認されているホタルは何種類でしょう。

- ① 3 種類                      ② 9 種類                      ③ 12 種類                      ④ 27 種類                      ⑤ 35 種類

**答え** ② 9 種類

**解説** 下関市では、これまでのところゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル、ムネクリイロボタル、クロクシヒゲボタル、カタモンミナミボタル、オオマドボタル、オハボタル、オオオハボタルの 9 種類が確認されています。

🌐 Q16 つのしま自然館に展示されている骨格のレプリカは、何のレプリカでしょうか？

- ①ホウホククジラ      ②アマガセクジラ      ③ハトシマクジラ  
④ツノシマクジラ      ⑤コットイクジラ

**答え**      ④ツノシマクジラ

**解説**      平成10年（1998）に今の角島大橋の下あたりで漁船と衝突して死んでしまったクジラの骨格のレプリカです。本物の骨は国立科学博物館で5年がかりで研究されて、そのおでことヒゲの特徴から新種のクジラであることがわかり、和名が「ツノシマクジラ」と命名されました。

Q17 豊浦町小串にあり、国指定天然記念物で、ある生物の生息地としても有名な洞窟を何というでしょうか。

- ①大吼谷<sup>おおごうや</sup>カモメ洞      ②大吼谷スズメ洞      ③大吼谷ツバメ洞  
④大吼谷コウモリ洞      ⑤大吼谷ヤモリ洞

**答え**      ④大吼谷コウモリ洞

**解説**      国指定天然記念物。響灘に向かって開口している奇岩の絶壁で、高さ7m、奥行き80mの大きな洞窟で、花崗岩が波に侵食されてできたものです。ユビナガコウモリの生息地としても学術上有名です。ただし、船上からでないで見ることができません。

🌐 Q18 山口県は日本でも有数の化石の産地ですが、下関市豊田町で産出された日本最古の生物化石は何でしょうか。

- ①アンモナイト      ②カブトガニ      ③ホタル  
④カメ      ⑤サメ

**答え**      ④カメ

**解説** 豊田町石町で、中生代ジュラ紀の地層から体長 2 cm 程度の小さな亀の化石が見つかり、平成10年（1998）に報告されています。この化石は、現時点では日本最古の亀の化石とされています。なお、豊田町は国内最大級の中生代ジュラ紀のアンモナイトの産出地として知られています。

Q19 角島大橋周辺で見られる柱状節理が横たわったもので、弘法大師が神田附野へ上陸されたさい、暫く薬師如来を安置されたといわれる石をなんと言うのでしょうか？

- ①薬師石 ②結び石 ③六角石 ④如来石 ⑤俵石

**答え** ⑤俵石

**解説** 柱状節理には珍しく横に現われていることから地質学の資料としても価値が高い。吉田松蔭先生は、北浦巡歴の際、ここに立ち寄られて、「播き尽きぬ宝の種や俵石」と讃えられました。また、庭の所有者である来見田家は、観涛園と呼ばれ、昔は俵屋という庄屋であった。附野薬師東山寺とのつながりが深く御本尊厨子の鍵を預かる旧家です。

## 《市 勢》

Q20 下関市は明治22年（1889）に全国で最初に市になった31市のうちの一つですが、全国にも希な市名改称を明治35年（1902）に行っています。下関市となる前の市の名称はなんだったでしょうか。

- ①馬関市 ②赤間市 ③赤間関市 ④穴門市 ⑤関門市

**答え** ③赤間関市

**解説** 明治になって市町村制が施行され、明治22年（1889）4月1日に